

2024 年度本科中学部講座 (集団授業) 講師紹介

受講生へのメッセージを掲載しています。

五十嵐 卓

(担当:英語)



ゆっくり急げ
語句の意味や綴り方に自信がなければ辞書を引き、不明な文法があればノートで確認する。こういったあたりまえの作業を積み重ねていける生徒を支えます。授業には欠かさず出席すること。やむを得ない場合は仕方ありませんが、「翌日が定期テストなので…」はダメです。

加藤 貴之

(担当:数学)



「なぜ?」の問いを日常的に!
何気なく使っている公式や解法、その仕組みを正しく説明できますか? 「なぜこう考えるのか」の問いを繰り返して、数学的な思考を鍛えましょう!
1つは、間違えることを恐れない! 他者の間違いを笑わない! (試行錯誤こそ数学です) もう1つは、課題で復習を忘れない! 反復は定着の基礎!

江守 三穂子

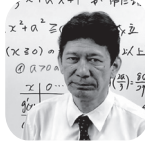
(担当:英語)



英語を話すためにも【語順】を意識しましょう
皆さんは英語について、どんなイメージをお持ちですか? 会話力のもとになる【語順】を意識した学習を続けて、繰り返し復習してください。ともに学びましょう。どうぞリラックスして受けてください。受け身にならず、『分からないことは放置せず質問』『自宅学習をする』『復習シートなどの問題を解く』『音読・暗唱』を繰り返して定着!

新矢 浩司

(担当:数学)



本質を見抜き、「わかる」から「解ける」へ
入試問題は複数の単元が融合されています。各単元の公式・定理をどういう局面で使うのか? どういう時には使ってはいけないのか? それらの本質理解が大切です。予習は出来るところまでで構いません。予習よりも、例えば、3日後、6週間後、9か月後というような、短期・中期・長期の復習を必ず行ってください。

加藤 遼

(担当:英語)



いつか高くへ飛ぶための、確実な足場固め
中学以降の英語の授業では、一見難解な用語が飛び交います。見慣れない言葉も「日本語との違い・共通点」を考えながら、ひとつずつ確実に理解していただきます。まずは全力で授業内容を吸収すること! さらに、それを自分の知識として定着させるための「アウトプット」の時間を取ることを強くお勧めしています。

多賀みのり

(担当:数学)



自分に厳しく、目標に向かってがんばりましょう
大学受験はそれ程甘くないです。やるべきことを把握し、後回しにせず学習するのも実力の1つです。そんな頑張りが楽しいと思える時間をともに過ごしましょう。「わかった」「わからない」をしっかりと表現しながら受講してください。その週の間に復習して、身につけていくことをコツコツと繰り返すことが大切です。

清水 知華子

(担当:英語)



学問に王道なし
英語の重要文法単元は、中高一貫の場合、ほとんど中学の間に学習してしまいます。ややこしいこともあるかと思いますが、わかるまで徹底的に教えます。とにかく集中して聞いてください。そうすれば必ず理解できる授業です。

平川 修三

(担当:数学)



山を登るなら「速さ」ではなく「高さ」で勝負しよう
イチローは打席で考え込む選手のことを不思議でならないそうです。「なぜ考え終わらないの?」…テストで考えても遅いのです。テスト前に考え尽くしましょう。「理解さえすればいい」「覚えさえすればいい」…そんな甘い話は一切しません。理解をし、そして覚えるのです。当り前のことを当り前にやっていきましょう。

中西 涼太

(担当:英語)



ひとつひとつ丁寧に、着実に!
英語の学習で大切なのは、「できるようにするまでやる」ことです。何度も繰り返し、身に付くまで徹底的に。しっかりと復習することを求めます。毎回の授業を大切に、理解を積み重ねてください。そして何より、楽しく英語を学ぶこと。

藤原 宏司

(担当:数学)



「考える力」を身につけよう
「数学は苦手・嫌い」という人はいませんか? 数学は一度解き方をマスターすれば、ほとんど解けるようになります。私の授業を受けて、考える力を身につけましょう。私の授業は、解き方だけを教えるのではなく、なぜその解き方をするのか、を教えます。そして、途中式や説明の書き方も徹底して指導します。

岡野 太郎

(担当:数学)



皆さんの“夢”を実現するお手伝いができれば幸いです
数学は現代に生きる我々にとって必要不可欠となっています。根気強く学ぶことで、必ず道は開けます。皆さんの“夢”実現に向けて、一緒に頑張っていきたいと思います。遠慮なく質問してください。「授業→復習」という一連のステップを毎回愚直に実行してください。そして、疑問点は必ず自身で調べたり先生に質問したりすることで解決してください。

宮本 紘助

(担当:数学)



先人・天才らが創ってきたアイデアを楽しく学ぼう
「わかる」ために①基本事項の解説、確認を徹底します ②考える時間を取ります ③問題を解くときにどこに着眼すればよいのかを中心に解説します。まず、自分の考えたことを、たとえ途中であっても書いてみるようにしてください。そして、わからないことがあれば、どんなことでも質問する勇氣を持ってください。

恩田 晶夫

(担当:数学)



表面だけでなく、その根本もおさえよう
解法は知っているけれど、考え方は知らない。それはいわず解けなくなっていくという合図です。解き方だけでなく、その意味をしっかりと捉えていくことが重要です。授業で扱う内容だけでなく、どこまで理解できていて、どこから理解できていないのか、自分自身のことを知ることにも努めていきましょう。

知原 愛

(担当:国語)



国語は様々な文章との出会いの場
国語の授業は、自分では読まないジャンルの文章とも出会える場です。様々な良い文章と一緒に取り組みながら、語彙や知識を増やしていきます。授業では、まずは解答を書いてみるのが大切です。字数が足りなくても途中までしか分からなくても、書くことで力がついていきます。一緒に頑張りましょう。

梶屋 三郎

(担当:数学)



共テも2次も戦える数学力を選び抜かれた良問で!
あつという間に2時間が過ぎる。数学がおもしろくなる。元気になるその秘密は何? シンプルで簡単かつ鮮やかに解ける36マジックでA.R.E.を目指します! ただ解答を写さずに問題を解こう! 自分の頭で考えよう! 反応しよう! ポケには突っ込もう! 笑おう! 楽しもう! そして人生の金メダル奪取を目標に共に挑もう!!

橘 裕子

(担当:国語)



日本人だから、国語は勉強しなくても大丈夫?
国語は全ての教科の土台です。様々なジャンルの文章に触れ、知識を広げてください! その上で、解答にたどり着くまでのプロセスを重視した読み方をお教えます。予習は不要です。授業内演習なので、ノートや添削を参考にもう一度読み込んで復習しましょう。古文は問題の復習だけでなく、全訳にもチャレンジしてください。